

佳作

カイコのし育

東京都 東京創価小学校三年 大関 稜雅

ぼくが、さい近一番感動した事は、自分でカイコをし育て、カイコのせい長をかんさつできた事です。

ある日、先生がカイコのとまごを教室に持って来てくれました。先生は、

「カイコのとまごを持ってきたからみんなでし育てかんさつしてみよう。」

と言いました。

カイコは白い虫だと思っていましたが見た事がなかったので楽しみでワクワクしました。

虫かごにクワの葉をふとんのようにならべてカイコのベットを作りました。そこにカイコのとまごをならべました。

一週間ぐらいたった日、学校についてカイコを見ると、たまごから茶色の毛が生えたいも虫が虫かご

と言っていたので、安心しました。

まゆは切ってまゆ玉人形を作りました。さなぎのカイコは、ちがう虫かごにうつして、かんさつしました。朝学校に行くと、白いガが元気に動いていて、とてもきれいでした。

たまごから生まれて、白いカイコになって、白いガになる。せい長のかんさつができて、とても感動しました。

の中にいました。

カイコじゃない違う虫がいると思って本で調べてみたら、カイコの赤ちゃんはさいしょから白い色じやないんだとわかってビックリしました。

毎日カイコをかんさつしていると、だっぴをしていって、だんだん白い色にへんかしていって、いつもの白いカイコにかわりました。

クワの葉をたくさん食べて大きくなって、茶色から白にかわるカイコはすごいと思いました。先生が、「カイコはまゆに入るまで、体重が一万倍になる。」と言っていて、びっくりしました。ぼくが体重一万倍になったら、家に入れないくらい大きくて動けないので、そうぞうができませんでした。

まっ白で丸いまゆになっていってだんだんカイコが見えなくなっていきました。クワの葉しか食べていないカイコが白い糸を出しているのを見て、ふしぎだと思いました。

まゆからさなぎのカイコを取り出して、死んでしまっかわいそうだと思いました。

先生が、

「まゆからさなぎのカイコを取り出しても死ななから大丈夫。」